＜先週の説教から＞

『ヘブライ書①―この終わりの時代には』

詩編 ２：７～１２　ヘブライ人への手紙 １：１～２

本日より『ヘブライ人への手紙』を読み始めます。実はこの手紙はなかなか謎の多い文書です。まず、誰が誰に対して書いて出した手紙なのかが未だに分かっていません。故に、いつどこで書かれたのかもはっきりしないのです。

伝統的には伝道者パウロが書いたと言われてきました。それは手紙の最後に「テモテ」という人物の名前が登場しており、これがパウロの同労者であったテモテ（＝テモテへの手紙の主人公）だと考えられて来たからです。しかしヘブライ人への手紙で使われている言葉や表現、文体などを調べるとパウロが書いた他の手紙のものとは大きく違っており、既にオリゲネスという初代教父がこの手紙はパウロが書いたとは言い得ないと述べていますし、伝統的な説をできるだけ踏襲しようとするカルヴァンでさえもパウロが書いたとは認めていません。では、誰が書いたのでしょうか？

同じ宗教改革者のルターはその著者として「アポロ」であるという説を最初に提唱しました。使徒言行録に出て来る名説教家です。アポロは洗礼者ヨハネの弟子からキリスト者となった人物なので、ユダヤ教や旧約聖書に精通していたからと。また近代になって、ハルナックという聖書学者が「アクラとプリスキラ」がその著者だと。上記のテモテを紹介する際に「わたしたちの兄弟テモテが」と複数形で述べている点に着目したのでした。実はこの２つの説は今でも支持する解説者がいるほどですが、しかし定説とはなっていません。

ただ、着目すべきことは、このように誰が書いたかはっきりしていなかったのに、新約聖書の聖典の中には昔から入れられて来ました。むしろ、聖典から外さないためにこの文書をパウロが書いた手紙と見做して来た歴史があるのです。逆に言えば、そうさせるほどにこの手紙の内容が素晴らしいと認められて来たということなのです。この点は、カルヴァンが『キリストの力と業をみごとに表現しており、教会の極めて貴重な宝であるという地位と名誉が与えられていることは正しい』と述べていることからも分かります。

上記の特徴が遺憾なく発揮されているのがこの冒頭です。「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。」です。普通、手紙と言えば、最初に時候の挨拶から始まってお互いの安否を気遣うところから始まります。しかしそんな前置きは一切ありません（故に、誰が誰に書いているかが分からない）。代わりに真っ先に問題にしている点は《神様》です。これはその宗教や信仰を紹介するなら、何より重要なテーマとなるのではないでしょうか。私たちに信仰の本筋を伝えようとしてくれていると言い得ます。それこそがこの書の目的です！

では、私たちの信仰にとって《神様とは？》、ヘブライ書の著者が伝えてくれているのは、神様とは私たちに「語っておられる」方なのだと！様々な方法で、特に御子＝イエス様を通して昔から今も語り掛けておられると！　私たちは神様がいるのか、いないのかが気になります。しかし、神様がおられても私たちに何の作用も働き掛けも及ぼさないとしたら、それはいてもいなくても同じではないでしょうか。神様が今も私たちに語りかけていてくださる、だから耳をすましてよく聞けば、その声が聞こえると！　その声に導かれながら生きることが私たちの信仰生活の基本なのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**【今週の集会】**

◉聖書研究・祈祷会Ⅰ.　１月 19 日（水）20：00

Ⅱ.　１月 20 日（木）10：30

聖　　書：　エゼキエル書

祈祷主題：　お茶の会奉仕者を覚えて

担 当 者：　（水）金剌　（木）細川

祈 る 人：　黒澤さん　栄原さん

**【教勢報告】**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主日礼拝 | 男 21 | 女 65 | 計 86 |
| 祈祷会 Ⅰ. | 男 6 | 女 4 | 計 10 |
| Ⅱ. | 男 3 | 女 9 | 計 12 |
| 日曜学校 | 幼稚科 9 | 小中科 11 | 計 20 |

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**【次週礼拝】**　１月　２３日（日）

聖　書：　出エジプト記　２０：７～１１

ヘブライ人への手紙 １：４～１４

説　教：　「ヘブライ書③ ― 神様の名前を受け継ぐ」

武田 真治 牧師

讃美歌：１７（1）、３２、４１９（1～２）、１２０（1～３）、２８

**【次週当番表】**

司式:羽倉長老　奏楽:須田　礼拝:金剌長老

献金：大野　岡田　　受付：金剌　坂田

会堂準備：大野　勝村　黒澤　西尾

看板：中村　週報：飯島　お花：飯島

**【次週集会予定】**礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会

礼拝後：・伝道/牧会/礼拝/社会/教育 各委員会



# 週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２２年　　１月　１６日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

**牧　師　　武田　真治**

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33

TEL＆FAX　048－771－6549

http://www.ageo-church.org/